

あり、又眞の陽轉と思われるものもある。

遠隔成績の明かとなつたものゝ治療法、陰轉化の日數副作用、梅毒血清反應検査の状態等に就ては第IV表に示すこととする。(表略)

〔宿題報告〕

妊婦梅毒の治療 慶大助教授 中島 精

(講演要旨は第3巻第4號に掲載)

26. 思春期女子骨盤外計測値について

(新大) 前田 美枝

女性は思春期を契機とし初經來潮と共に第二性徴が現われて来る。これ等は女性の最も主要なる生命即ち、新生命創造への大切な準備である。この重大な生命完遂の、他の要素の一つに骨盤がある。思春期に於ける骨盤の發育狀態を逐年的に計測した報告は私は寡聞にして知らない。そこで、如何なる發育狀態を呈するかを知らんとて検索し、次の如き結果を得たから此處に報告する

(1) 私は昭和22年より新潟某高等女學校生徒1300餘名につき、同1人の骨盤外計測を3年間連續計測せり。

(2) これにより各徑線の平均値(表の如し)を得しも、各徑線とも1年目より2年目、2年目より3年目がいずれも高値を示し、有意の差を認むる所多し、之は戦時中の壓迫された生活より開放され、伸びやかな生活、諸スポーツの發達、特にバドミントン、排球、水泳等の發達加うるに食糧事情の緩和等の關與する所大なるものならんと考えられる。

(3) 諸徑線中、外斜、外結合、側結合は各年共概して滿13乃至14歳に最高發育點あり。他の徑線即ち横徑は比較的年長の方に最高發育點あり。前後徑の發育が先ず先きの様である。

(4) 大體外結合の發育が最も早く、棘間の發育が最もおそい様であるが滿17歳頃には全徑線共成人基準値に達する様である。

(5) 女學生の現在の骨盤狀態より見るに成人の骨盤各徑線標準値も今まで考えられていた標準より大になつて來ているのではなからうかと考えられる。

(6) 分散不變推定量より推して見るに骨盤各徑線に於て、滿13、14、15歳の邊の値が比較的大で年齢の進むと共にだんだん小となつてゐるが、これは若年に於ては平均値からへだたつた値の所有者が比較的多く年長になる程平均値に近い値の者の多くなつて來る事を意味するものと思う。身長、胸圍、體重特に後二者では前後通じてその値、大して變りない。之は概ね年長に於ても若年の頃

の分布狀態のまゝなる事を意味するものと考えられる。

(7) 身長、胸圍、體重を各徑線との相關をみるに若年程相關強く年長者程薄くなる。之は發育率に於て見る如く、骨盤各徑線に於ては若年より年長者迄、その差が精々 $\frac{1}{3}$ 位に減するのであるが身長、胸圍、體重特に前二者に於ては $\frac{1}{5}$ 乃至 $\frac{1}{10}$ 近く迄の値となる。これ等より相關係數の値の低下も首肯出來ると思う。

(8) 特に骨盤と相關濃きは體重の様である。第二時性徴の脂肪沈着等考え合せると興味深いものと思う。

(9) 有經者の百分率は表に示す如くなるも來潮の百分率の具合を見るに24年度は14、15、16歳とも俄然多くなつて來ている。これ又戦後の生活狀態榮養等の影響が考えられるのではあるまいか。(表略)

27. 兒頭・骨盤の相對的診斷價值に關する研究 特に外計測法について

(岡大) 高知 床志

(1) 本研究は兒頭應形機能の研究(昨年發表)に續くものである。即ち骨盤に於ては余の提唱する外結合線測定方法により正確に期した非妊婦、妊婦205例の開腹患者で眞結合線と入口横徑とを計測し、外結と眞結とは相關係數 $r=+0.708$ 相關比(横:0.745, 縦:0.690)共に有意回歸關係は直線性とはいひ難いが兩回歸直線交角 θ の正切 $\tan \theta=18^\circ 31'$ で兩者の關係は最良近似直線(第I圖)で表わし、その方程式は $(y-11.65)=0.730(x-19.33)$ となり、次に外結と身長とは $r=+0.759$ で密な相關にあり故に身長を加味した外結と眞結との關係は(第II圖)に示す如く外結19cm迄は身長の正常域下5cmの短縮につれ眞結は約0.5cmの短縮あり、從來の外結と眞結との關係に對して一因子を提起せんとした。

(2) 次は入口横徑と櫛間徑は $r=+0.392$ で回歸關係は5%の危險率で直線性であるといひ得、この關係は $(y-12.58)=0.205(x-27.6)$ の式で表わさう。 (第III圖)尙臨牀的に便にする爲、櫛間23cm、24cmは2.0、25cm、26cmでは2.1、27cm、28cmでは2.2、29cm、30cmでは2.3で除せば入口横徑を得る。更に簡單には棘間徑の $\frac{1}{2}$ に0.3cm~0.5cmを加うれば近似的に入口横徑をうる。

(3) 次は産科觸診法を強化擴充し腹壁上兒頭外計測法に「レ」線學的考察を加え、(第VII圖)に示す如く頭位で兒頭の固定していない、縦定位、反屈位を除くものでは殆んど兒頭は早期屈曲をしている事から觸診では第VII圖の三角形ABK.を念頭に置いて兒頭前後徑兩端を定め

る手技を提案し、臨牀的にはA點は中心線より約3横指の處の突出部を定める様にすれば合理的である。以上の手技による觸診點A、Bに骨盤計を充分適合して前後徑を計測しつつ「レ」線撮影をすれば、前後徑兩端を指向し得るの結果を得た。この計測値を産褥第3日の兒頭前後徑と比較せば一致した。次に産褥兒頭146例について前後徑と大横徑の關係を追及せば $r=+0.504$ で第IV圖に示す様に $y=-0.15x^2+3.75x-13.8475$ なる式で示さる。臨牀的には腹壁上兒頭前後徑計測値9.0cm 臺は1.2cmを10.0cm 臺は1.5cmを11.0cm 臺は2.0cmを、それ以上は2.5cmを減すれば期待大横徑を得る。(1), (2), (3)の基礎的實驗結果と、既往毎回死産の故に帝切分娩を選んだ患者のデータから均衡性の判定には骨盤縦徑のみでなく横徑をも考慮に入れる必要がある。即ち眞結は大横徑より入口横徑は前後徑より共に0.5cm迄は大きい必要があり、これ以下の場合を不均衡と判定すべきであると結論する。以上全編の關係を外計測値から容易に決定し得る如く第V第VI圖の簡便圖表を提示した。尙本研究には「レ」線學的檢索をしたことを附言す。

(圖表略)

28. 妊娠中の骨盤位の矯正(ヒマシ油・浣腸を使用する新法)

(東京警察) 外 川 清 彦

原法はEscuder等の發表であるが、本邦婦人に而も外來診療に於ける應用を考慮し、ヒマシ油は25ccとし、浣腸は最も實施容易なる「イチヂク」2コ(40cc)を使用する變法を案出した。自己廻轉に就ての過去の研究成果を顧慮し、廻轉頻度の少い初妊婦に目標を置きX線撮影を實施前後に行い、以て本法の効果を判定した。未産婦11例中不成功1例のみで臀部の骨盤内に進入強く、35週の實施例であつた。1回經産婦7例は全例成功。

以上中2回實施例は2。實施より判定迄は早きは翌日遅くも4日迄である。本法に依る下痢は3乃至7回で1、2日中に正常便通となり、陣痛の發來、腹部疼痛の殘存等の副作用を見ぬ。妊娠中本法を行つた症例にして、入院分娩のあつた場合は、その経過を觀察したが、異常を認めず僅に臍帶の頸部纏絡を1例に見た。

勿論本法實施後の再發はない。ヒマシ油の瀉下作用の機轉を以て本法の機轉を説明するは無理であろうが、之は今後の研究に屬する。本法は外廻轉術と異り患者側の條件も技術も不要であつて、初心者、場合に依つては助産婦に推奨しても可なる良法と言える。

29. 雄ヒキガエル妊娠反應の作用機序

(弘前醫大) 古賀康八郎, 黒江富雄

余等はさきに雄ヒキガエル排精作用による妊娠反應は黃體形成を主作用とする絨毛性性腺刺激ホルモンの特有作用であることを證明し、本作用によりこのホルモンの定量が可能で、異常妊娠の診斷にも應用し得ることを報告した。その後本作用機序について研究を重ね次の成績を得た。

1) 妊婦尿注射後15分乃至72時間の辜丸及び腎の組織學的變化を注射前に剔出した側のそれと比較追及するに、精細管内に於て精子は15分に既に配列が亂れて次第にセルトリ氏細胞より遊離しはじめ、精子束及び遊離精子の減少を認める。精子細胞の増殖現象は1時間頃より増加を認め、24時間には遊離精子は管腔内に散在する程度に著減するが、管壁には増殖現象旺盛となり精母細胞が柔實狀に集團をなすもの多くなり、72時間には新生精子束が増加する。間質組織は注射初期には變化なく、12時間頃より細胞が増殖、肥大して三角部には腺様構造をなすものがある。腎に於ては15乃至30分後よりその一部分の糸球體ボーマン氏嚢及び尿管内に遊離精子の出現がある。

2) 腦下垂體剔出、イミダリン或はルミナル注射、エーテル麻酔、脊髄切斷等を行つた動物に妊婦尿を注射し非處置動物と比較するに、排精作用は殆んど影響されない。

3) 剔出辜丸の試験管内實驗は、妊婦尿中では陰性であるが、同一妊婦尿のアルコール抽出溶液中では多量の精子排出を來す。

以上より本作用は腦下垂體或は神経系統を介することなく直接辜丸に作用して細精管内の貯藏精子を活動性と糸球體を通じて尿管に排出するもので、精子の増殖、間質の變化は本作用とは直接關係ないと考えられる。

30. 雄トノサマ蛙を使用せる妊娠反應竝にその際の蛙性腺の變化について

(秋田) 神保恒春, 竹内隆一, 伊藤五郎, 武田 基

余等は1948年9月以來トノサマ蛙成熟雄でMainini反應を追試し、次の結論を得た。

1) 妊娠尿165例では陽性率90.3%で陽性率は妊娠初期にやゝ高率である。この傾向は他の追試者及び米國のRana pipiensによる諸報告と同じである。非妊婦尿はすべて陰性であつた。

2) Zondekの尿濃縮法を應用すれば陽性率は更に向